



第6課 一緒に！

できること具体例

- ① 地域センターや図書館の案内を見て、目的の場所がわかる。
- ② ツアーに参加したり、習い事をしたりする場合に、お知らせを見て、必要な情報（時刻・金額）や、お得な情報（割引、サービス）がわかる。
- ③ 漢字を使って、メールで友達を誘うことができる。

とびら

◎とびらに出ている学習漢字

【提出漢字】 帰、来、会、今、書、読、話

【読める】 図書館

◎教室でのやりとり例

①とびら全体について

T：これは何ですか。

L：メールです。

T：〈漢字を指して〉この漢字を見たことがありますか。

②本田先生のメール

T：〈「先生」を指して〉これは誰のメールですか。

L：先生です。

T：〈「国」「帰」を指しながら〉先生のメールはどんなメールですか。

L：国へ……ります

T：みなさんは、国へ？

L：帰ります。

T：そうです。この漢字は「かえります」です。

*既習の「国」と、送り仮名の「ります」から推測を促します。

③イーさんのメール

T：〈「来週」「飲み会」を指しながら〉イーさんのメールはどんなメールですか。

いつ、何をしますか。

L：しゅう、こんしゅう、らいしゅう……飲みます。飲み……

T：これは「らいしゅう」の「のみかい」です。

*「来」「会」の音読みと訓読みを紹介します。

④中野図書館のメール

T：〈「本」を指しながら〉このメールはどんなメールですか。

L：本のおしらせ

* 「新」は未習ですので問いません。「本」は既習です。

T：そうです。本のお知らせです。このメールは誰が出しましたか。

L：……。

* 既習の「本」から、メールの差出人を推測します。

T：本がたくさんあります。本のお知らせをします。どこですか。

L：としょかん？

T：そうです。この漢字は「としょかん」と読みます。

* 「書」の音読みと訓読みを紹介します。

⑤金さんのメール

T：金さんのメールのタイトルは何ですか。

L：電話してください*。

T：〈「話」を指して〉この漢字の意味は何ですか。

L：……。

T：みなさんは電話で何をしますか。

L：はなします。

T：そうです。これは「はなします」。「わ」「はなします」読み方が2つあります。

* 「電話」は第4課の「読める」で既出です。

書きマス目ページ

◎覚えかたのヒントと留意点

62 「聞」

「『門』に『耳』をあてて『聞』きます」というストーリーで覚える方法を紹介してもいいでしょう。「門」の意味は第3課で確認済みです。「耳」は未習なのでイラストやジェスチャーなどで伝えるといいでしょう。

63 「読」

既習の「語」と同じパーツ（言）が含まれていることに注目してもらい、このパーツ（言）がある漢字は言葉に関係があるということを共有するといいでしょう。

65 「話」

「語」「読」と同じパーツ（言）が含まれることに注目してもらおうといいでしょう。また、右下のパーツ（口）の意味を確認し、「話すときに『口』を使う」というストーリーで覚える方法を紹介してもいいと思います。「口」は未習なので、イラストやジェスチャーなどで伝えます。

また、動詞には送り仮名が必要です（「話します」）が、名詞には送り仮名が必要ないこと（「話」）も確認します。

- ①②…字形の問題
- ③④…送り仮名の問題
- ⑤⑧…読み方の問題
- ⑥⑦…似ている漢字の問題

練習1 書いてみよう

- II 難しい場合は、板書して、クラスで組み立ててみるとわかると思います。
- IV 漢字を選ぶだけでなく、送り仮名にも注意を向けてください。

練習2 やってみよう

- I コミュニティーセンターのフロアガイドを見て、行きたいフロアを選びます。未習の漢字もありますが、そこに注目するのではなく、知っているものに注目して情報を探していくようにしてください。また、わからない場合は、その部分に注目できるようなヒントを出してください。
 - ①はなす→「日本語・会話」
 - ②本、読む→「図書館」
- II ①「受付」の漢字の意味がわかれば選べます。「受付」は「見て、わかる」の漢字なので、読み方は問いません。
 - ②未習漢字もありますが、知っている漢字を手がかりに、必要な情報だけを選びます。
- III ①曜日と「5,000円引き」に注目するようヒントを出してください。
 - *「月曜日」は第3課の漢字です。「～引き」は第2課「見て、わかる」の漢字です。
 - ②「休みは1日だけ」：1の後の漢字に注目を促します。（1週間ではなく、1日→「日帰り」）

[教室でのやりとり例]

T：1日だけのツアーはどれですか。

L：Cです。

T：どうしてですか。どの漢字を見ましたか。

L：「日」と「帰」を見ました。これは1日の旅行です。

- IV 情報が読み取れればいいです。文法的にうまく答えられなくても（文法が間違っているなど）そこでやり取りを止めずに、どこにその情報が書いてあるのかを確認します。

V (聴解問題)

英語学校のパンフレットです。2人の友達と学習者が、3人でおしゃべりしている場面をを想定しています。CDを聞く前に、各コースですることに注目するよう促し、黙読をしてもらってください。このとき、読み方や意味は確認しません。答え合わせの際は、どのキーワードから答えにたどり着いたかを共有します。最後に、学習者が英語を勉強する場合、どのコースがいいか話してみるのもよいと思います。

[教室でのやりとり例]

T : 田中さんはどのコースにしましたか。

L 1 : Cです。

L 2 : Dです。

T : どうしてですか。

L 3 : ビジネスですから。アメリカの会社で働きたいですから。

T : そうですね。ビジネス英語コースはCコースとDコース、2つありますね。

Cコースは何をしますか。

L 1 : 話します。

T : Dコースは何をしますか。

L 2 : 読みます。書きます。

T : では、田中さんはどんな勉強をしたいですか。

L 1 : 話したいです。〈ここで答えが出ない場合は、もう一度CDを聞きます。〉

T : そうですね。話す練習はどちらですか。

L 2 : Cです。

VI  まりさんのメールの中の「春」は未習ですが、この漢字がわからなくてもできます。